

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（1組：石田 ） （2組：石田 ） （3組：石田 ） （4組：石田 ） （5組：石田 ）

使用教科書：（ 実教出版 公共 実教出版 ズームアップ公共資料 ）

教科 公民 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】社会的事象に関する基本的な知識を、自らの生き方や社会の在り方について関連付け、多面的・多角的に理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題等を多面的・多角的な見方・考え方に基づいて思考・判断・調査の上、発表や表現、記述ができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現に向け、諸資料や統計、他者の意見を参考にして、現代の諸課題を主体的に解決する姿勢を持つ。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、概念や理論について理解する。諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向け、公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、表現できる。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 国際政治の動向と政治 【知識及び技能】国家主権、領域について意義と役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国家主権とは何か、国境を越えた人権保障の課題等を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に国際法や領土問題について学習しようとする。	・指導事項 国内政治とは異なる特質がある国際政治について国家間の秩序を作り出す国際法、国際連合の意義と役割を教授する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 国家主権、領域について意義と役割を理解できている。 【思考・判断・表現】 国家主権、国境を越えた人権保障の課題等を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に国際法や領土問題について学習しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済のグローバル化によってどのような課題があるかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に経済・国際貿易について学習している。	・指導事項 現代の経済活動が世界規模で自由に行われていることを理解すると同時に、地域経済統合、南北問題、南南問題について教授する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存関係について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 経済のグローバル化によってどのような課題があるかを考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に経済・国際貿易について学習しようとしている。	○	○	○	6
	C 国際平和と防衛問題 【知識及び技能】 日本国憲法の平和主義と自衛隊の関係、世界の軍縮を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会、国際貢献において我が国の役割を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に国際平和と我が国、各国の役割を学ぶ。	・指導事項 我が国の防衛に関する基本的な事柄に触れながら、広い視野に立って理解し、修学旅行とも関連した学びの場を展開する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 日本国憲法の平和主義と自衛隊の関係、世界の軍縮を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会、国際貢献において我が国の役割を考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に国際平和と我が国、各国の役割を学習しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D 倫理 青年期と自己形成 【知識及び技能】 青年期の特徴、アイデンティティについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の性格や能力などについて考察し、表現したり発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自身の生き方、大人になる、自己実現について向き合う。	・指導事項 青年がどのような世代の特徴を持っているのか、アイデンティティとは何か、自分事として考えられる授業展開をする。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 青年期の特徴、アイデンティティについて理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の性格や能力などについて考察し、表現したり発表できている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自身の生き方、大人になる、自己実現について向き合っている。	○	○	○	9
	E 倫理 よく生きる 西洋哲学 【知識及び技能】 西洋の思想家が求めた人間観・国家観・倫理観について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思想家が求めた人間観・国家観・倫理観について、現代の身の回りに置き換えて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に思想家が求めた人間観・国家観・倫理観について学ぶ。	・指導事項 古今東西の幅広い知的蓄積を通して様々な人生観、宗教や倫理観を手掛かりに自身の生き方を考えられる授業を展開する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 西洋の思想家が求めた人間観・国家観・倫理観について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 思想家が求めた人間観・国家観・倫理観について現代の身の回りに置き換え考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に思想家が求めた人間観・国家観・倫理観について学ぼうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	F 倫理 人間の尊厳 医療倫理 【知識及び技能】 生命の誕生・延命治療・終末医療などの現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 医療倫理の課題それぞれが抱える倫理的課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に現代の医療倫理について学ぶ。	・指導事項 現代の生命科学や医療技術の状況に関心を寄せ、その問題点について考えることができる授業を展開する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 生命の誕生・延命治療・終末医療などの現状を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 医療倫理の課題それぞれが抱える倫理的課題について考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に現代の医療倫理について学ぼうとしている。	○	○	○	6
3 学 期	G 倫理 人間の自由と権利・平等 【知識及び技能】 家族形態や機能の変化、ジェンダー課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢問題や男女共同参画社会について調べ、意見発表をする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にジェンダーをはじめとする現代の諸課題を学ぶ。	・指導事項 地域社会が変化しつつある中で、家族と国家の中間的な位置にある地域が我々を持つ意義を理解し、考察できる授業を展開する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 家族形態や機能の変化、ジェンダー課題について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢問題や男女共同参画社会について調べ、意見発表ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にジェンダーをはじめとする現代の諸課題を学ぼうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	H 政治参加・選挙 【知識及び技能】 民主政治の仕組み、国民の意見の反映に選挙が重要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 選挙制度によって政党政治の形態が変化することを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 主権者として選挙に参加しようという意欲を持つ。	・指導事項 模擬投票などの実施により政党や選挙を身近に捉え、選挙の仕組み、種類を理解できる授業を展開する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 民主政治の仕組み、国民の意見の反映に選挙が重要であることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 選挙制度によって政党政治の形態が変化することを考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 主権者として選挙に参加しようという意欲を持っている。	○	○	○	6
	I 経済 労働と消費 【知識及び技能】 契約の原則、消費者問題、労働問題、社会保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者、雇用・労働問題や社会保障・福祉について課題を発見し解決方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に現代の諸課題について追究する。	・指導事項 18歳で新成人、来年には卒業することを前提として、契約・労働・社会保障などを自分事として捉えられる授業を展開する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識及び技能】 契約の原則、消費者問題、労働問題、社会保障について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者、雇用・労働問題や社会保障・福祉について課題を発見し解決方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に現代の諸課題について追究できる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							79